

岡山県の海の安全・安心はみんなで守ります!

～水難救済会・消防署連携による船舶火災消火

投稿：玉野海上保安部



火災船の状況

平成 21 年 10 月 21 日（水）0600 頃、岡山県備前市日生町沖 100 メートルの海上において、漁業従事者親子 2 名が乗船する漁船の機関から突然出火し、乗船者 2 名は付近を航行中の漁船に救助されましたが、漁船は炎上を続けるという事故が発生し、東備消防署の職員及び同所有のガソリンポンプを搭載した岡山県水難救済会日生町漁協救難所の救助船がこれの対応に当たり、当該火災は迅速・的確に消火されました。

岡山県水難救済会日生町漁協救難所は、岡山県東端、玉野海上保安部から最遠部に所在する救難所として、平素から近隣海域で発生する様々な海難に対応し、これまでも多くの人命・財産の救助を行うとともに、ライフガードレディースによるライフジャケット着用推進活動を岡山県で最初に推進するなど、当部にとっても大変心強い民間救助ボランティア団体です。

この火災事故前日の 20 日（火）には、玉野海上保安部において、岡山県海域における潜水器密漁の容疑により未成年者 3 名を含む 6 名を通常逮捕しており、

当該火災事故時は正に海陸全職員が一丸となって不眠不休で事件捜査に従事している最中に発生したもので、係る際におきましても不測の事態への備えはしておりましたが、本件は、基地からの緊急出港及び遠隔地という状況から、当部による対応の困難さが予想されました。

このような状況の中、当該情報を受けた東備消防署から当部に対して「間もなく当消防署職員が現場に臨場するが、岸壁からの放水では届かない可能性が大きく、また、該船に近づこうにも船がないので対応が困難である。」旨の連絡を頂いたので、当部から「岡山県水難救済会を活用してはいかが！？」と助言したところ、早速両者間において調整し、連携して本件対応に至った次第です。



火災原因等の調査に当たる玉野海上保安部及び東備消防署職員

これも偏に、岡山県水難救済会日生町漁協救難所及び東備消防署とが、平素より、合同海難救助訓練や AED 講習会を通じて緊密な連携・協力体制を構築している賜物であり、玉野海上保安部では、今後とも当部を含むこれら官民関係機関等との連携・協力体制の維持・強化を図り、みんなで岡山県の海の安全・安心を守っていく所存です。